

標題

主機用ディーゼル機関におけるシリンダカバー付
クーリングジャケットの亀裂損傷について

ClassNK

テクニカル インフォメーション

No. TEC-1158

発行日 2018年7月20日

各位

最近、弊会船級船において、特定の主機用ディーゼル機関のシリンダカバー付クーリングジャケットに亀裂が発生し、大量の冷却水が漏洩する事故が複数報告されています。亀裂の多くは、ボルト穴を起点として発生しております。(写真1参照。)



写真1 クーリングジャケットの亀裂(ボルト穴が起点となったケース)

本亀裂損傷については、主機メーカーより、当該部のメンテナンス方法を含めたサービスレターが2014年1月に発行されております。詳細は以下にてご覧になれます:

Home (<https://marine.man-es.com/>) > Two-Stroke > Service Letters
(サービスレター番号: SL2014-584)

また、2016年12月には米国沿岸警備隊(USCG)から関連する注意喚起文書(Marine Safety Alert, No.17-16)も発行されております:

Home (<https://www.dco.uscg.mil/>) > Our Organization > Assistant Commandant for Prevention Policy (CG-5P) > Inspection & Compliance (CG-5PC) > Office of Investigations & Casualty Analysis > Safety Alerts

(次頁に続く)

NOTES:

- ClassNK テクニカル・インフォメーションは、あくまで最新情報の提供のみを目的として発行しています。
- ClassNK 及びその役員、職員、代理もしくは委託事業者のいずれも、掲載情報の正確性及びその情報の利用あるいは依存により発生する、いかなる損失及び費用についても責任は負いかねます。
- バックナンバーは ClassNK インターネット・ホームページ(URL: www.classnk.or.jp)においてご覧いただけます。

クーリングジャケットの亀裂による冷却水漏れは、シリンダカバーのオーバヒートに加え、冷却水流量（圧力）低下による主機の自動減速や自動停止を引き起こします。最悪の場合には、座礁や衝突などの重大海難事故に繋がる危険性もあります。

当該ディーゼル機関を搭載した船舶を運航、管理されている船主殿および管理会社殿におかれましては、改めて主機メーカーのサービスレターや USCG の注意喚起文書をご参照の上、必要な対応につき配下船への周知徹底を行われるようお願い致します。

なお、本件に関してご不明な点は、以下の部署にお問い合わせください。

一般財団法人 日本海事協会（ClassNK）

本部 管理センター別館／技術研究所

住所: 東京都千代田区紀尾井町 3-3 (郵便番号 102-0094)

Tel.: 03-5226-2737

Fax: 03-5226-2736

E-mail: ri@classnk.or.jp